

学年団だより

香川県立高松北中学校 3年団

2024. 1. 10

明けましておめでとうございます。3年間の団だよりの中で、最後の新年のごあいさつとなりました。冬休みが終わり、いよいよ新しい年（学期）の始まりです。第5回目の「学習の診断」があった5日や昨日の子どもたちの様子を見ていて、感慨深いものがありました。いつものように人懐っこい笑顔で、声をかけてくれるので、お互いに笑顔で会話をしました。「この子たちと一緒に学校生活を送れるのもあと2か月余りか〜。〇〇さんは、1年生のときと比べてすごく背が伸びたな。△△さんは、毎朝教室の鍵を開けてくれているな。□□さんは、いつも一生懸命に掃除してくれているな。だからいつもWCはきれい。みんな、身体的にも精神的にも随分成長したな。」そんなことを思いながら、子どもたちと接しました。笑顔の中にもきりっとした大人びた表情をもち、それぞれがこれからの自分の目標に向かって決意を新たにしている様子がうかがわれました。3年団教員一同、精一杯応援をしていきたいと思っています。

穏やかな新年を迎えている中、能登半島地震や海上保安機と日航機の衝突事故等のニュースが流れています。今現在地元の方たちや各県からのボランティアの方々が懸命に救助活動や支援活動にあたっただけです。頭が下がる思いです。AIである程度地震の予測はできたかもしれませんが、最前線で救助にあっているのは人間です。AIがますます進化して、人間に代わって社会の進歩・発展を担っていくとされています。しかし、それだけでは十分ではありません。人間の力はなくてはならないものです。人間の知性や感性を融合することで、望ましい結果を導き出すことができます。主体的に考え判断したり、他者と協力し合ったりしながら解決する力を身に付けていく必要があります。柔軟で汎用性の高い知性はAIにはない強みです。これから高校生になって、答えが1つではない課題について考え議論する活動の場が多く出てくると思います。前向きに取り組み、一人一人が人間の強みを磨いていってほしいと願います。

1. 平和について深く学んだ修学旅行

初日は少し雨に見舞われましたが、2日目からは快晴でした。12月に入っていましたが、沖縄らしい暖かい気候で、歴史や文化、自然を学び感じる事ができた有意義な旅になりました。現地で体調不良になったり、ケガをしたりする生徒は一人もなく、全員が元気に過ごせたことを喜んでます。戦争によってもたらされる惨禍を理解し、平和について深く考える機会をもつことを目的とした今回の平和学習で、生徒たちは真剣に学習できたと思います。実際に壕に入って現地のガイドさんの話を聞いたり、平和祈念公園の「平和の礎」の膨大な数の刻銘を見てまわったり、ひめゆり平和祈念資料館での資料等を目の当たりにしたりすることで、平和に対する考えの高まりや深まりが感じられました。また、平和集会などを通して、これからの人生に向けて新たに決意するものもあつたようです。全体的に駆け足のような日程でしたが、それぞれの体験先や訪問先で様々な楽しさや感動があり、一生の宝物になったことと感じています。それぞれの感想は多くのお土産物と併せて、土産話としてお聞きいただけたものと思っています。参加した教員全員も、一緒に楽しめた修学旅行になりました。



2. 教科書無償運動についての学習

新学年になると、毎年真新しい教科書を手にし、ページをめくりながら、これから始まる勉強に期待を抱き、進級した喜びを感じていたことでしょうか。教科書の1冊1冊に必ず書かれている言葉があります。それは、「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」というものです。高校生になると、教科書は購入しなくてはいけなくなります。義務教育の教科書が無償配布になったのには、どういう歴史があつたかご存じでしょうか。9年間の義務教育を終える今、改めてその経緯をきちんと理解してもらいたいと思い、教科書無償運動についての学習をしていくことにしました。